

- 1 開催日時
令和 7 年 2 月 2 0 日（木） 午後 1 時 3 0 分から 2 時 3 0 分まで
- 2 開催場所
柏地域医療連携センター研修室 （ハイブリット形式）
- 3 出席者
- (1) 委員
石山委員（会長）， 織田委員， 小山委員， 武市委員， 齊藤委員， 高橋委員， 山本委員，
工藤委員， 石田委員
- (2) 市
吉田健康医療部理事， 岡村健康医療部次長兼地域医療推進課長， 大西健康政策課長，
島澤高齢者支援課長
- (3) 事務局（地域包括支援課）
小出課長， 宮島専門監， 小笠原統括リーダー， 長谷部副主幹， 山崎副主幹， 渡辺主査，
小川主査， 喜田主任， 上野主事補
- (4) 地域包括支援センター
山本柏北部地域包括支援センター長
志田柏北部第 2 地域包括支援センター長
大島北柏地域包括支援センター長
菅野北柏第 2 地域包括支援センター長
笠原柏西口地域包括支援センター長
南良柏西口第 2 地域包括支援センター長
村本柏東口地域包括支援センター長
志摩柏東口第 2 地域包括支援センター長
神津光ヶ丘地域包括支援センター長
宮原柏南部地域包括支援センター長
中村柏南部第 2 地域包括支援センター長
日笠沼南地域包括支援センター長
- 4 議題
- (1) 令和 7 年度地域包括支援センター運営体制について
(2) 地域包括支援センターの事業評価について

5 議事

(1)令和 7 年度地域包括支援センター運営体制について	
事務局より資料 1 に沿って説明した後，質疑応答等を行った。主な内容は次のとおり。	
委員	事務局
委員より御意見，御質問なし	
< 決定事項 > 事務局からの説明内容にて， 令和 7 年度地域包括支援センターの運営を進めることとして承認を得た。	

(2) 地域包括支援センターの事業評価について	
事務局より資料 2 に沿って説明した後，質疑応答等を行った。主な内容は次のとおり。	
武市委員	事務局
事業評価について，配点が 0 点， 1 点もしくは段階的になっているということだが，センターによる自己評価の基準がセンター毎に異なるのではないか。どのセンターでも自己評価の基準が同一となるよう，どのような取組みを行っているのか。	センターによる自己評価に加え，市で行政評価を行い，二段階評価で基準の統一を図っている。センターによる自己評価後，市で各センターへ聞き取りを行い，評価にばらつきが生じないように努めている。

武市委員	事務局
行政評価をした後に、各センターに対してフィードバックを行っているのか。	行政評価後、各センターに対してフィードバックを行っている。フィードバックの際に各センターの利用者からアンケートでいただいた御意見を互いに共有することで、今後のセンターの適切な運営に活かしている。
< 決定事項 > 事務局からの説明内容にて、令和 6 年度及び令和 7 年度の地域包括支援センターの事業評価を進めることとして承認を得た。	

その他の御意見、御質問	
工藤委員	事務局
研修費について、市から何らかの補助や助成はあるか？	事務費の中に研修講師への謝礼金や、交通費等も含まれている。センター職員の育成や運営に必要なものは、事務費から支出することとしている。
工藤委員	事務局
限られた委託料のなかで運営されていることが分かった。相談を受ける際は、ソーシャルワークの資質が常に問われるため、研修の必要性を日々感じている。そのためには費用をかけて学んでいく姿勢というのも大切であると考え。	

- 6 報告事項
- 介護予防支援及び総合事業に係るケアマネジメント業務の委託について

- 7 傍聴
- (1) 傍聴者
- 1 人
- (2) 傍聴の状況
- 傍聴要領に反する行為は見受けられなかった。

- 8 次回開催日時（予定）
- 令和 7 年 7 月 1 7 日（木） 午後 1 時 3 0 分から 3 時 3 0 分まで